

2025 年 7 月 24 日
株式会社みずほ銀行

LegalOn Technologies 社の優先株式引き受けについて ースタートアップの成長を後押しする資金供給の多様化ー

株式会社みずほ銀行（頭取：加藤 勝彦、以下「みずほ銀行」）は、リーガル AI サービスとしてグローバルに活動するスタートアップである株式会社 LegalOn Technologies（代表取締役 執行役員/CEO：角田 望、以下「LegalOn Technologies」）が発行する優先株式の引き受け契約を、昨日締結しました。

未上場スタートアップ企業に対する希薄化を抑制したメザニンファイナンス（優先株式引き受け）としては、当行初の案件となります。

足元では、スモール IPO の増加、グロース市場の低迷や上場維持基準の厳格化など、スタートアップを取り巻く環境は潮目の変化を迎えており、スタートアップにとっては、成長期間の確保のための資金調達の多様化が喫緊の課題となっています。

かかる状況下、〈みずほ〉は通常の融資にとどまらず、優先株の引き受けやベンチャーデットファンドなど、成長企業のニーズに応じたさまざまな資金調達手段への対応を強化しています。

このたび、グローバルでの一層の成長を見据える LegalOn Technologies への資金供給に際し、同社の成長戦略や資本政策に適した内容で優先株式の設計を行い、対応しました。

LegalOn Technologies は、リーガルテック領域においてグローバルに活動する、日本を代表するスタートアップです。企業活動のデジタル化・複雑化が進む中で、法務やコンプライアンス対応の高度化・省力化を支援し、企業の持続的な成長とリスクマネジメントの両立を加速度的に推進しています。既に米国法人も有しており、「LegalOn」を中心とするリーガルテックサービスの有償導入社数はグローバルで 7,000 社を超えています。〈みずほ〉もその一社であり、法務分野での導入に加え、事務分野での導入検討が進んでいます。

〈みずほ〉がイノベーション企業などと連携して法人のお客さまのデジタルトランスフォーメーション（DX）を支援する取り組み”みずほデジタルコネクト”においても、リーガルテック分野で唯一の連携企業となっています。今後も付加価値のあるソリューションを拡充しながら、お客さまの法務業務の効率化とリスク管理の強化を支援していきます。

今後も〈みずほ〉は、LegalOn Technologies との連携を通じ、〈みずほ〉および〈みずほ〉のお客さまの DX を強力に推進していくとともに、積極的かつ多様なリスクマネー供給を通じ、スタートアップの非連続な成長を支援していきます。

【“みずほデジタルコネクト”サポート体制】



以 上

ともに挑む。ともに実る。

MIZUHO